

# 「2004年版 ポリエステル樹脂総合分析」 目次

## 第1章 飽和ポリエステル樹脂の業界構造

1. 飽和ポリエステル樹脂の種類と市場
  - 1.1 飽和ポリエステル樹脂の原料と製品の関係
  - 1.2 飽和ポリエステルの需給と価格推移
    - (1) 供給の動向
    - (2) 価格推移
  - 1.3 主要品目の市場規模
  - 1.4 主要品目の課題と今後の展望
2. 国内メーカーの事業展開
  - 2.1 飽和ポリエステル関連品目のメーカー別能力
  - 2.2 ポリエステル関連の主な提携関係
  - 2.3 主要メーカーの事業展開
    - (1) 旭化成
    - (2) カネボウ
    - (3) クラレ
    - (4) 帝人
    - (5) 東洋紡績
    - (6) 東レ
    - (7) 三井化学
    - (8) 三菱化学
    - (9) ユニチカ

## 第2章 世界の飽和ポリエステル原料・製品の需給

1. 飽和ポリエステル原料
  - 1.1 PTA/DMT
    - (1) 世界の生産能力と需要
    - (2) 日本メーカーの海外進出
  - 1.2 エチレングリコール
  - 1.3 飽和ポリエステル原料の価格
2. 飽和ポリエステル製品
  - 2.1 ポリエステル製品の市場規模
  - 2.2 主要製品の動向
    - (1) ポリエステル繊維
    - (2) ボトル用PET樹脂
    - (3) PETフィルム
    - (4) PBT

## 第3章 PETボトル

1. PET系ボトルの発展経緯
2. 日本のボトル用PET樹脂の特徴と次世代触媒の開発
  - 2.1 日本のボトル用PET樹脂の特徴
  - 2.2 次世代触媒の開発動向
3. ボトル用PET樹脂の供給動向
  - 3.1 ボトル用PET樹脂の供給構造と供給推移
    - (1) ボトル用PET樹脂の供給構造
    - (2) 供給量推移(国産, 輸入)
4. PETボトルの需要構造
  - 4.1 PETボトルの用途別需要推移
  - 4.2 ボトル用PET樹脂の需要構造変化
5. 清涼飲料用PETボトルの需要分析
  - 5.1 清涼飲料の生産量とPETのシェア変化
  - 5.2 PETボトルの種類
  - 5.3 清涼飲料用PETボトルの種類別需要動向
    - (1) 種類別需要推移

- (2) アセプチックの動向
    - (3) ホットウォーターボトルの動向
    - (4) 容量別生産動向
  - 5.4 その他用途の需要分析
    - (1) 清涼飲料を除く食品用
    - (2) 非食品用
6. PETボトルの需要予測
7. 成形加工メーカー
8. ボトル用PET樹脂の価格動向
9. PETボトルの高機能化
  - 9.1 紫外線バリア
    - (1) 紫外線バリアの改良方法
    - (2) 主な紫外線バリアPET樹脂の動向
  - 9.2 ガスバリア性の改良
10. PETボトルのリサイクル
  - 10.1 PETボトルの発展経緯とリサイクル
  - 10.2 主な再生処理施設と再生処理能力
  - 10.3 PETボトルのリサイクルシステム
  - 10.4 リサイクルの方法
    - (1) マテリアルリサイクル
    - (2) ケミカルリサイクル
  - 10.5 ケミカルリサイクルメーカーの動向
    - (1) 帝人ファイバー
    - (2) ペットリバース
    - (3) 旭化成せんい
  - 10.6 ケミカルリサイクル施設稼働によるマテリアルリサイクルへの影響
  - 10.7 再生PET樹脂の用途開拓動向

## 第4章 ポリエステルフィルム

1. 供給の動向
  - 1.1 国内PETフィルムメーカーの生産能力
  - 1.2 PETフィルムの供給構造
  - 1.3 需給バランス
  - 1.4 メーカー別販売量
2. メーカー動向
  - 2.1 東レ
  - 2.2 帝人デュボンフィルム
  - 2.3 三菱化学ポリエステルフィルム
  - 2.4 東洋紡績
  - 2.5 その他のメーカー
3. 需要の動向
  - 3.1 PETフィルムの需要推移
  - 3.2 用途別需要動向
    - (1) 磁気材料
    - (2) 電気絶縁フィルム
    - (3) 電子材料
    - (4) 磁気カード
    - (5) 光学フィルム(LCD用マスキングフィルム/LCD拡散板用フィルム/LCDプリズムシート用フィルム)
    - (6) 離型材料(LCD用離型フィルム/セラミックチップコンデンサ用/メディカル用/窓貼りフィルム用)
    - (7) 缶用ラミネート

- (8) 包装材料(シュリンクフィルム/透明蒸着フィルム/アルミ蒸着フィルム/その他包装用及び包装用全体市場)
- 4. 価格動向

#### 第5章 ポリエステル系シート

- 1. A-PET シート
  - 1.1 A-PET シートの種類と特徴
  - 1.2 供給の動向
    - (1) 業界構造と市場規模
    - (2) メーカー別生産能力
  - 1.3 需要の動向
    - (1) A-PET シートと競合シートの市場規模推移
    - (2) A-PET シートの用途別需要構成, 需要動向
  - 1.4 競合シートの需要動向
    - (1) 硬質塩化ビニルシート
    - (2) OPS シート
    - (3) 透明HIPS シート
  - 1.5 価格動向
- 2. C-PET シート
  - 2.1 C-PET シートの供給動向
  - 2.2 価格動向

#### 第6章 1,3-プロパンジオールとそのポリエステル

- 1. PDO, PTT の開発経緯と企業化動向
  - 1.1 デュボンの開発状況
  - 1.2 シェルケミカルズの開発状況
  - 1.3 その他メーカーの開発動向
- 2. 1,3-プロパンジオールの製法
  - 2.1 エチレンオキサイド法(シェル法)
  - 2.2 アクロレイン水和方法
  - 2.3 バイオ法
- 3. 1,3-プロパンジオールのコスト試算
- 4. 1,3-プロパンジオールのポリエステル以外の用途
- 5. PDO 系飽和ポリエステルの種類
- 6. PTT の市場規模と世界の PTT 繊維メーカー
- 7. PTT 繊維
  - 7.1 PTT 繊維の特徴
  - 7.2 PTT 繊維の開発状況
    - (1) ソロテックス(事業化動向/用途開発動向)
    - (2) 東レ, オペロンテックス(事業化動向/用途開発動向)
  - 7.3 PTT 繊維の市場展望
- 8. 非繊維用 PTT
  - 8.1 非繊維用 PTT の性能, 物性比較
  - 8.2 PDO 系共重合ポリエステル樹脂の特徴
  - 8.3 非繊維用 PTT の展望
    - (1) 工業用
    - (2) フィルム, シート

- (3) ボトル
- 9. PTT のコスト試算

#### 第7章 1,4-シクロヘキサンジメタノールおよびそのポリエステル

- 1. CHDM の特徴と製法, コストと価格
  - 1.1 CHDM の特徴と製法
- 1.2 CHDM のコストと価格
  - (1) コスト試算
  - (2) CHDM の価格
- 2. CHDM の開発経緯とメーカー動向
  - 2.1 イーストマンケミカル
  - 2.2 SK NJC
  - 2.3 その他メーカー
- 3. CHDM 系ポリエステルの特徴とメーカー
  - 3.1 CHDM 系ポリエステルの種類と用途
  - 3.2 CHDM 系ポリエステル樹脂の生産と販売の動向
- 4. CHDM 系共重合ポリエステル樹脂の需要動向
  - 4.1 用途別需要構成
  - 4.2 用途別需要動向
    - (1) プレート
    - (2) 包装用シート
    - (3) シュリンクフィルム
    - (4) 化粧フィルム
    - (5) カード
    - (6) 出成形・その他
    - (7) カレンダー成形
- 5. PCT の販売動向

#### 第8章 NDC および PEN 系樹脂

- 1. NDC
  - 1.1 NDC 開発の歴史
  - 1.2 0-キシレン/ブタジエン法 NDC のコスト試算
    - (1) 製法の概要
    - (2) コスト試算
  - 1.3 NDC メーカー別生産能力と供給推移
  - 1.4 メーカー動向
    - (1) BP ケミカル
    - (2) 三菱ガス化学
    - (3) 神戸製鋼所
  - 1.5 NDC の価格動向
- 2. PEN フィルム
  - 2.1 PEN フィルムの開発動向
  - 2.2 PEN フィルムの需要動向
  - 2.3 PEN フィルムの価格
- 3. PEN 系ボトル
  - 3.1 PEN 樹脂の特徴
  - 3.2 ボトル用 PEN 樹脂の開発動向
  - 3.3 PEN 系ボトルの市場展望
  - 3.4 ボトルを中心とする PEN 系樹脂の用途